

Nakajima Map

中島おさんぽサイクリングマップ

明治の館

豪壮な合掌組入母屋造りの茅葺の住宅。江戸時代には回船問屋や酒造業を営み、近代では国会議員を務めていたという「室木家」の建物で、一般公開されています。海ぎわに佇む純日本家屋の風情は一見の価値あります。

藤津比古神社

「新宮（しんご）」とも称される。景行帝の御代の創建と伝えられる式内社。明治5年郷社に列格。近郷地区民の尊崇篤く、7月15日の納涼（おすずみ）祭には、20本余の奉燈（おあかし）、9月15日の大祭には10台余の神輿、大幟旗が供奉し、翌16日には神事相撲が行われる。御本殿には昭和42年、国の重要文化財（建造物）の指定を受けた。

座主家住宅

茅葺きで入母屋造りの座主家は、能登の入り口で多く見られた「口能登型」の民家です。1716年から1735年（享保年間）に建てられた、江戸時代の建築と推定され、現存する最古の口能登型民家といわれています。平屋建て、入母屋、茅葺き、平入り、建材に鮑（かんな）を使わず「手斧（ちょうな）はつり」が用いられている特徴があります。桁の長さは7.5間、梁間は4間、平面は「カッテ」、「オエ」、「ナンド」、「ディ」、「オクノデ」の5室からなり、間仕切り柱は1間ごとに立てられています。国指定重要文化財です。

中島祭り会館

国指定重要無形民俗文化財・熊甲二十日祭（くまかぶとはつかまつり）の粋旗行事（わくばたぎょうじ）をはじめ、七尾市中島地区の祭礼を熱気そのままに再現しています。祭りの興奮を、120インチの大画面でリアルに体感できます。

久麻加夫都阿良加志比古神社（お熊甲本社）

作者、年代とも不詳ですが、藤原時代の造像とみられる久麻加夫都阿良加志比古神社座像は、国の重要文化財です。例大祭のお熊甲祭（9月20日）は、数多い能登の祭りの中で奇祭として知られる勇壮な祭りです。

藤津比古神社

座主家住宅

中島祭り会館

電車乗車区間

久麻加夫都阿良加志比古神社
（お熊甲本社）

演劇堂

wakubataya
（体験・観光拠点施設）

集落・田園風景

電車乗車区間

明治の館

西岸駅

牡蠣棚

長浦うるおい公園

ツインブリッジ

海岸沿いの路

自転車乗車区間

机島

能登中島大橋

自転車乗車区間

唐島社

笠師保駅

能登演劇堂

日本で唯一、自然と舞台が一体となったユニークな造りの演劇専用ホールです。仲代達矢が主宰する無名塾が1985年から毎年石川県鹿島郡中島町（現：七尾市）で合宿していたことが縁で、1995年5月12日に開館。

唐島社

七尾西湾に突き出したこの森。樹齢約300年の自然林が広がります。タブノキやヤブツバキ、モチノキ、ケヤキなど他にも数種類が混生し、古くからのこの辺りの海岸沿いの自然の様子を今に伝えるものとして極めて貴重なものです。毎年7月には、第4土曜日に「塩津かがり火恋祭り（塩津のおすずみ祭り）」が行われ、「唐島社」の女の神様と、同じく塩津にある「日面神社」の男の神様が船に乗り、沖に出て海上でひとときの逢瀬を楽しむんだそうです。その逢瀬のひとつときに五穀豊穡と平穏無事を願って海には大きなかがり火が焚かれ、たくさんの蓮の灯明がたなびくロマンチックなお祭りです。神輿と奉燈を乗せた船も見もの。

ツインブリッジ

能登島大橋に次いで、能登島への第2のアクセス方法として設置されたつり橋です。全長620メートルの橋から見える眺望は、能登島をはじめ、周辺の七尾湾に浮かぶ島々など、絵画のような美しさです。夕暮れ時には、美しい景観が楽しめます。

能登島大橋

能登島と七尾市石崎町を結ぶ、全長1,050メートルの石川県で一番長い橋です。石崎町側には公園があり、海と島が織りなす優美な風景を楽しむことができます。

おすすめのビュースポット

おすすめの立ち寄りスポット

おすすめのビュースポット

おすすめの立ち寄りスポット

のと鉄道七尾線

能登島大橋

和倉温泉駅